保護者の皆様/選手

クラブ説明資料

PS TC

P.S.T.C. LONDRINA

POLICY

（方針）

P.S.T.C.LONDRINAは、
育成について全身全霊をもって取り組みます。

Club History（クラブの歴史）

設立

2000

成人男子、成人女子が競技フットサルクラブとして地域リーグに参戦

スクール事業開始

2001

大井校、秦野校、平塚校開校

大井拠点整備

2007

フットサル施設「ZUCC FUTSAL BASE大井」を整備し、大井校の拠点として活用

P.S.T.C. LONDRINA

２０００年に社会人フットサルチームとしてP.S.T.C.LONDRINAは設立されました。そこで活動する選手が、フットサルという競技を世間に広めたい、サッカーの技術向上に有効なフットサルを子供達にも伝えたい、そして、フットサル/サッカーを含めたフットボールで生活できたらという想いを抱き、LONDRINAフットサルスクールが立ち上がりました。
当時の日本、特にクラブの活動エリアでは、フットサルという言葉すら一般的に知られてはいなく、フットサルスクールの社会的地位は無いに等しかったです。出来たばかりの町クラブスクールは、わずか数人の入会からのスタートでした。
今聞けば嘘のような話ですが、「フットサルをやるとサッカーが下手になる」という話をされるサッカー指導者の声も聞こえ、悔しい思いもしました。ブラジルやスペインでは幼少期にはフットサルを行う事が常識になっているという事を知っていましたし、実際にブラジルへ渡り、自分の目で確かめていたので、いかにしてこの事実を伝えればいいのかと頭を悩ませましたが、メキメキと上手くなる子供達の成長が正解を示してくれる形となりました。

当たり前の話ですが、指導をするには会場が必要で、公共の体育館やテニスコートの一部を間借りしながら転々とし、時に急な会場変更や予約が取れなかったりと面倒をかけた事もありましたが、保護者の方々の協力により何とか切り抜けていく事が出来ました。この時も、楽しそうにボールを蹴り、成長していく子供達の姿がクラブと保護者の共通のモチベーションとなっていました。

６年ほど活動を続けましたが、２００７年Fリーグ（日本フットサルリーグ）の開幕を控えた前年、いよいよ活動拠点の整備がクラブの発展には必要と感じ、設立当初に会場として利用していたテニスコートが廃業している事を知り、地主さんへフットサル施設の整備をお願いに伺いました。
何処の馬の骨とも分からないクラブという印象に加えて、かなり世代が上の地主さんは、フットサル施設、フットサル競技自体を聞いた事がなく、説明には多くの時間を費やしました。
ですが、この町から日本を代表する選手を輩出する目標や、子供達が元気で明るくスポーツを楽しむ環境整備に理解を示して頂き、大井町にフットサル施設を整備する事が現実となりました。

Club History（クラブの歴史）

本厚木拠点整備 2010
フットサル施設「ZUCC FUTSAL BASE本厚木」を整備し、本厚木校の拠点として活用

ジュニアユース設立
１３歳～１５歳カテゴリーチーム

ユース設立 2011
１５歳～１８歳カテゴリーチーム

ジュニア設立
７歳～１２歳カテゴリーチーム

海老名拠点整備 2012
フットサル施設「ZUCC FUTSAL BASE海老名」を整備し、海老名校の拠点として活用

スクール開校 2014
湯河原/真鶴校　開校

ジュニア全国大会出場
第２３回全日本少年フットサル大会出場
全国ベスト１６

ユース全国大会出場 2015
第２回全国ユースフットサル大会出場
全国３位

スクール開校 2017
大船校　開校

ジュニアユース（女子）設立
１３歳～１５歳カテゴリーチーム（女子）

大井校、平塚校、秦野校に加え２０１０年には、本厚木の拠点施設の整備と共に本厚木校を開校し、この時スクール生は３００人の規模になりました。当時は小学校６年生でスクールを卒団し、LONDRINAの活動を終える訳ですが、その後の成長にも責任を持ちたいという気持ちで同年にジュニアユース（中学生）チームを設立しました。

翌年の２０１１年にはサッカー、フットサルの両方を競技するジュニア（小学生）チームと、フットサル専門のユース（高校生）チームを立ち上げ、クラブ設立当初からある男子と女子の社会人チームを筆頭に、小学生から大人まで LONDRINAのエンブレムの元、プレーできる組織となりました。

２０１２年にはクラブとしては初となる屋内施設を海老名駅前に整備し、海老名校を開校。
２０１４年には、より神奈川県西地区での活動を充実させるため、湯河原/真鶴校を開校しました。

この頃には日本サッカー協会を始め、Jリーグクラブの監督などもフットサルトレーニングの有効性を分かりやすく発信するようになり、同時にSNSやインターネットの環境が整備されたことにより、保護者の皆様もその情報を着信できるようになりました。

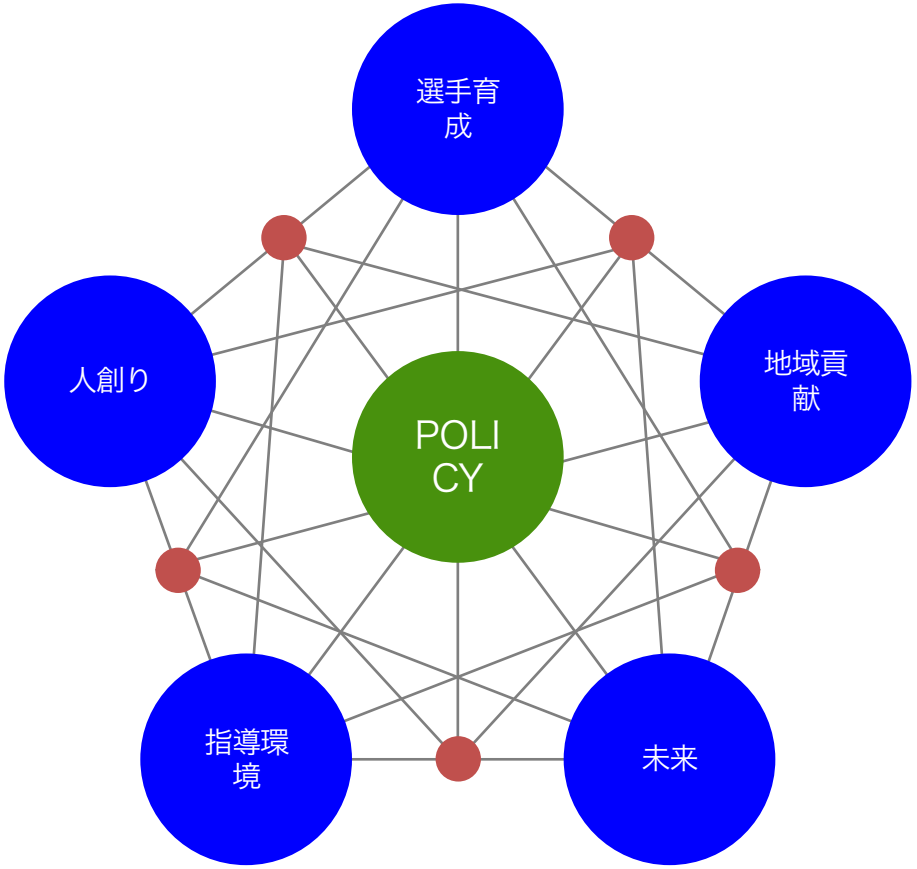
全国大会への出場を始めとするチーム実績や、念願だった日本代表選手の輩出が新しいチャレンジのきっかけとなり、今まで未整備だったスクール生女子の卒団後の受け皿として、２０１７年にサッカーを専門とする女子ジュニアユース（中学生）チームを設立しました。同年に藤沢鎌倉地域でのスクール整備の要望を受け大船校を開校し、２０１７年現在、スクール７箇所、チーム６カテゴリーのクラブ組織となりました。

わずか１０数年の歴史ではありますが、選手の努力、保護者の協力、クラブの尽力が三位一体となり着実に歩みを進めています。
今後も、在籍している７００名の選手とそのご家族、これから仲間となる選手とそのご家族がP.S.T.C.LONDRINAの歴史を刻んでくれると信じています。

コーチ、フロントスタッフ一同

LONDRINA SPIRIT

クラブが掲げるPOLICYに沿った「選手育成」「人創り」「地域貢献」「指導環境」「未来」への活動を、選手/コーチ/スタッフ及び保護者/パートナー企業/応援者とが、共通の想い【LONDRINA SPIRIT】を持ち、継続して取り組んでまいります。



礼儀/挨拶

ピッチ内外に関わらず、チームメイトや知り合いはもちろんの事、初めて会った人や対戦相手などに礼を尽くす意義を徹底教育しています。

人間関係を友好に保つ大切さや、自分から挨拶できる事により主体的な行動も養われると信じています。

協調性/信頼

集団生活の中で自分とは違う言動に対し、許容/協調を考え実践できる場を与えます。厳しい規律の中で活動を行いますが、決して画一的な人間を作り出すのではなく、個性を認め合い試行錯誤させることが、同じ目標に突き進む“仲間”への信頼が芽生えると考えます。

正解を安易に教える教育ではなく、問題を与え協調し選手自身に答えを見つけ実行に移させます。成功や多くの失敗の中にこそ人としての経験が積み重なっていくはずです。

自主性/感謝

クラブ活動の準備や、クラブへの連絡は自分で行わせます。会場移動を伴う活動は、集合時間だけを伝え、アクセス方法など自分で調べ現地集合/現地解散を奨励しています。

自立心を芽生えさせる過程で、障害や困難な局面を体験する事で保護者や支援者への感謝へもつながります。

フットサルの優位性を採用

ピッチが狭く、相手との距離が近い分、ボールコントロール技術が格段にアップします。

サッカーに比べボールに触れる回数が6倍多いと言われ、プレー機会とともに「認知・決断・実行」の思考機会も多く体験できます。

全国基準/世界基準

日常トレーニング及び試合実戦では、育成段階に応じた内容、対戦相手を選択しています。隣の選手との優劣に固執するのではなく、トップレベルと自分の距離を正確に認識することが大切だと考えます。

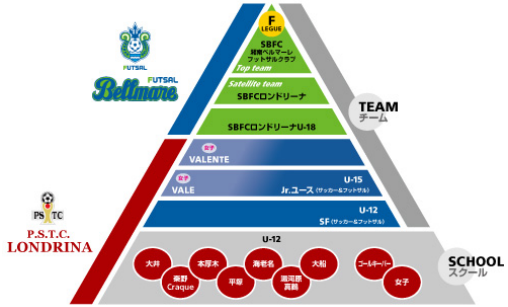
県外はもとより海外遠征へも積極的に参加しています。

一貫教育

幼児から小学生、中学生、高校生を経て成人までの全てのカテゴリーを組織していることから、習得できている技術、身体の成長に合わせた“今すべきトレーニング”を提供出来ます。

幼少期に十分な基礎技術と脳を鍛え、身体の成長が完成した時期に、アスリートとして勝負をかける準備/育成を行います。

トレーニングコンセプトは、全カテゴリーで一貫しています。



存在意義

LONDRINAは地域クラブです。地域に愛され必要とされることで、スポンサーや応援者が集まり活動を続けていくことができます。クラブ員が主催となり地域の方々をおもてなしする夏祭りの開催や、清掃活動などピッチ外での地域活動にも積極的に取り組みます。

また、普段専門的な運動指導を受ける事がない公立保育園に対して、コーチを派遣し、無償運動室を定期開催しています。

選手としての経験値

プロフットサル選手、プロサッカー選手としてキャリアを積んだコーチからは、技術面、精神面、生活面など実際どういったハードルに直面し、それを乗り越えてきたかを伝える事ができます。

“プロ選手”という夢や目標をもって活動する選手にとって、すぐ身近に経験者がいることは重要だと思います。また、
湘南ベルマーレフットサルクラブの現役選手を指導者として採用する事で、最高峰のプレーを実際に見させ、伝える事ができます。

スポーツを通じて、
機会をつくり
チカラを引き出す。
Chance & Empowerment

私たちが゛エンパワーメントする5つのチカラ

100%をやり切るチカラ(努力・完全燃焼)
苦労を楽しむチカラ(苦労の先にある達成感)
自ら考え、立ち、歩むチカラ(自分の意見・自分で゛判断・対応力)
人を思いやり、感謝するチカラ(感謝・利他)
違いを認め、活かし合うチカラ(多様性)

人と人のつながりを大切にし、身近な世の中を幸せにできる人をふやす。

多様性

フットボールに固執することなく、ヨガ、ラグビーなど身体的/精神的な応用が期待出来る分野に関しては、専門指導のもと、積極的に採用しています。

トッププレーヤーの輩出

育成を手がけた選手が、フットサル日本代表、Fリーガーとして活躍し始めています。

サッカー界ではU-15日本代表や全日本高校サッカー選手権出場などプロ選手への最終段階に差し掛かった状況まで進むことができています。

国内や海外で活躍できる選手を育成し、日本代表としてW杯への出場を目標に掲げています。

拠点整備

欧州の地域クラブにならい、サッカーグラウンド、クラブハウス、宿泊施設、飲食店舗が一体となったクラブ拠点を神奈川県西エリアに整備計画を行います。

共同事業者、スポンサー、サポートカンパニー、またその候補と協議を進めます。

また、藤沢/鎌倉エリアへの新規スクール開校を行います。

地域活性

毎年100名を超す卒団選手がいます。クラブ規模の拡大、拠点の整備を行った上で、選手キャリアを終えたOBの、コーチ/スタッフでのセカンドキャリアの受け入れを行います。

また、地域/スポンサー/サポートカンパニーと連携し、元居た地域へ戻り、OBが社会人として地域で活躍できる環境整備を進めます。

LONDRINA POLICY（クラブの方針）に共感して頂き、共にクラブ創り行って頂いている「サポートカンパニー」をご紹介させて頂きます。

サポートカンパニーは一般的にいうスポンサーとは違い、当事者意識を持って選手育成の一端を担って頂いております。時にクラブのPR活動を行って頂いたり、時にご家庭の負担軽減を目的に、展開している事業やサービスの割引提供や、イベントのサポートなど、関わり方は様々です。

サポートカンパニーの証として各スクールウェアに社名ロゴが掲出されています。

SCN SHONAN CABLE NETWORK
生きがい燈そう ittokai 一燈会
IHS Planning
FULL MARK 協進フルマーク工業株式会社
まるだい運輸倉庫
Shonan Synthesis Company Limited Builder
Shonan Dayservice One Life
KONAGAWA
TriQ
焼肉市場 まつだ
PIZZERIA Certo!HONOBO-NO
AXIS
Log Hair. design & relaxation
有限会社 山岸工務店
TV/CM/VideoPackage Visual Crew Productions
秦野交通
有限会社 四つ葉屋
花水 ラオシャン
Aqua-Style
HACHIYOH
指圧 整体 鍼灸 えのもと治療院
ChouChou hair design
寄自動車
セブンイレブン 小田原曽我店
大森電気 Omori Electric Service
肉のきむら
えびな東口歯科
SANO Strawberry Farm

2022/2 時点
一部掲出

保護者の皆様へ

この度はP.S.T.C.LONDRINAスクールの入会、またはご検討頂き誠にありがとうございます。前述の通り、POLICY（方針）に沿ったクラブ運営を行なっております。この方針をご家庭と連携することで、より一層子供達に伝わりやすくなると考えています。１０数年スクール活動を行い、数千人の子供達と時間を共有して来ました。その中で実際に保護者の方々より、多く頂いたご質問やご相談を一部抜粋致しました。参考にして頂き、ご協力の程、宜しくお願い致します。その他ご質問ご相談があれば、お気軽にコーチにお声掛け下さい。

■うちの子は運動神経が悪いのでは？　運動能力を上げる為にはどうすれば良いか？

→人間は一生に一度だけ訪れる神経系の発達時期があります。逆に言えばこの時期を逃してからでは、いくらトレーニングしても神経系が発達する事はありません。３歳から８歳をプレゴールデンエイジと呼び、多種多様な動作経験から基本的な運動動作を身につける時期です。９歳から１２歳をゴールデンエイジと呼び、動きを理解し即習得できる一生に一度だけ訪れる大きな成長が見込める時期です。この段階で神経系の発達は９割以上が終了していると言われています。LONDRINAスクールではこの根拠に基づいたトレーニングメニューを組んでおりますが、保護者の方々もこの情報を理解して頂き、様々な運動体験（遊びを含む）を促して頂ければと思います。なお、発達の速度は前後２歳程度の個人差がありますので、特に周りができていて自分の子供ができていなくても必要以上に焦る事はありません。

■まだ幼児でフットサルやサッカーをきちんと理解できていないのですが、入会年齢が早すぎませんか？

→前述の通り、幼児期は運動動作を身につける非常に重要な時期になっています。LONDRINA幼児スクールでは、ボールを使いながら特にコーディネーショントレーニングを意識したメニューを組んでおります。コーディネーションとは、バランス良く、タイミング良く体の各部位を同時に使っていく力や体の各部位を効率良く、滑らかに使っていく能力を指し、下記の７つの要素によって構成されています。

また、神奈川県内の幼稚園、保育園10園でLONDRINAコーチによる運動教室が採用されています。幼児期は運動能力を開発し、運動に慣れる最適な時期なので、年齢が早すぎるという事はありません。

「リズム能力」 真似したり、リズムを作ったり、タイミングを掴む能力。

「バランス能力」空間や移動中における身体のバランスを維持し、崩れを素早く回復する能力。

「連結能力」　タイミングを合わせ、身体の各部位を正確に無駄なく同調させる能力。

「定位能力」　自分の身体の位置を時間的・空間的に正確に決める能力。

「反応能力」　合図に素早く正確に対応する能力。

「変換能力」　予測した状況の変化に対して、動作を切り換える能力。

「識別能力」　手や足、用具など゛を精密に操作する能力。

■周りの子より下手でついていけません。
→育成年代における特徴や状況を理解しているので、コーチは身体的な成長が遅く出来ていないのか、技術的に習得できていないのかをしっかり切り分けて判断しています。成長の速度や、トレーニングに取り掛かった期間などで差が出るのは当然のことです。育成年代は周りとの“今”を短絡的に比較する時は注意が必要です。
「ついていけないので辞めます。」というケースのうち、子供の意思ではなく、“今”劣っている子供を不憫に思う保護者の意思が働いている事が多いです。子供は苦労しながら成長を無意識に楽しんでいる事がほとんどなので、もし心配であればコーチの意見を聞いて頂けると正確な情報をお伝えします。
■自立の促しについて
→LONDRINAではお休みやクラブの連絡を子供自身で行うよう促しています。目的は自立に向けた失敗体験です。クラブにお気遣い頂き、スムーズに連絡した方が良いと保護者の方から連絡をもらうケースがありますが、クラブを実験台だと思って子供にチャレンジさせて頂ければと思います。ご家庭でも練習道具、ウェアの準備や送迎なしで自分で通うなど、段階を追ったチャレンジの促しをお願いします。
■プレーに関する叱咤激励について
→プレーの失敗や習得できていない技術の事は本人が一番分かっています。それを家族に指摘される事は、例えばお父さんの仕事の成果や、お母さんの夕飯の評価を家族にされる事と同じ様な厳しいものです。また前向きなものであっても技術的なアドバイスをする場合は、コーチと違う意見やニュアンスになった時、子供が信用する先が２つになり困惑してしまいます。どちらも可愛さ余っての行動がそうさせますが、子供にとっての代え難い理解者、応援者としてまずは「頑張ったね！」「応援してるよ！」という言葉と愛情のサポートをよろしくお願いします。
■女の子ですが入会できますか？
→問題なく入会頂けます。各校で行われる通常スクールで男の子と一緒に通うこともできますし、小学校３年生から中学校３年生を対象に女子限定で行う女子スクールもあります。フットサルやサッカーを行う女子は小学校卒業後の行き先が少ない現状ですが、LONDRINAではジュニアユース（中学生）のサッカーチームと、成人（中学生以上）のフットサルチームを保有しているので、長い期間をかけた一貫教育が可能です。
■少年団に所属していますが、LONDRINAスクールに入会できますか？
→スクールは平日の活動を基本とし、技術習得を大きな目的としていますので、少年団を含む別のチームに所属していても問題なく入会できます。よくあるケースとしては少年団が平日１回と土日の試合が基本的な活動回数なので、もう少し練習機会を求めて週１～２回LONDRINAスクールに入会する子供も多くおります。なお、LONDRINA自体もSFという小学生チームを保有しています。スクールやチーム活動とのバランス、また塾などの学業、他の習い事、保護者の送迎の可否など、個々の生活サイクルに照らし合わせ、最適な活動プランをお示しいたしますので、お気軽にご相談下さい。